

施策番号	1002		
施策名	環境や社会に貢献できる農林業の育成		
概要	資源循環型産業として環境や社会に貢献するとともに、観光資源につながる農林業・農山村の魅力創出を図るなど、農林業の持つ多面的機能を生かした地域づくり・人づくりを進める。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

施策の評価

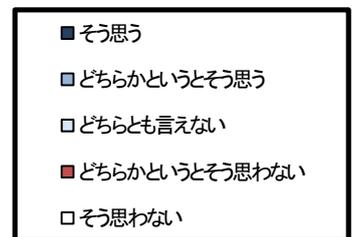
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					指標のウェイト
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1 間伐面積(スギやヒノキの人工林における間伐面積)(ha/年)	-	a	1,182	828	1,000	82.8%	a	1.00
2 「京の旬野菜」供給量(t)	-	a	9,666	9,763	10,062	97.0%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 京都の農林業は、環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備を通して、地域社会に役立っている。	24 5.5%	87 19.8%	235 53.5%	74 16.9%	19 4.3%	439	c
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 環境に負荷をかけない栽培の取組や森林の整備等は、市民生活において実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価は、森林整備に対する補助施策の効果的な推進と、雇用対策を活用した「京の旬野菜」直売所の設置により、目標値を概ね達成することができ、a評価となった。 ・市民生活実感評価は、森林整備や「京の旬野菜」消費による環境負荷抑制効果が、市民生活において実感しにくい面があるため、c評価になったものと考えられる。 ・このため、総合評価はB評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	中山間地域等直接支払制度	36,187	36,353	-	産業観光局
2	園芸振興	50,255	45,856	良い	産業観光局
3	家畜衛生防疫	6,301	6,270	普通	産業観光局
4	農業基盤整備事業	83,861	88,915	かなり良い	産業観光局
5	京の川の恵みを活かす事業	5,166	3,648	かなり良い	産業観光局
6	森林等被害防止対策事業	60,474	108,355	かなり良い	産業観光局
7	山村都市交流の森運営管理	42,408	41,508	良い	産業観光局
8	森の力活性・利用対策(森林バイオマス活用推進事業を含む。)	77,517	82,227	かなり良い	産業観光局
9	木質ペレット需要拡大事業	24,949	38,332	かなり良い	産業観光局
10	木質資源利用推進事業	2,294	5,294	悪い	産業観光局
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・農林業の環境や社会に対する貢献度が高まり、市民にも実感されるよう、水源涵養機能や二酸化炭素吸収源としての森林の公益的機能や、「京の旬野菜」消費による環境負荷抑制効果など、農林業の持つ多面的機能について市民啓発を積極的に行うとともに、農業用水路に治水機能を付加するなど、市民生活の安心・安全の確保を図る。

施策名	1002	環境や社会に貢献できる農林業の育成									
指標名	間伐面積（スギやヒノキの人工林における間伐面積）（ha/年）										
担当課	林業振興課	連絡先	2 2 2 - 3 3 4 6								
1 指標の説明											
本市のスギやヒノキの人工林における間伐面積											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境保全等の公益的機能の確保状況を示す指標			出典：京都府林業統計								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
数値	1,182	828	354ha/年減	1,000	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度末の間伐対象森林面積（10,320ha）から、10年間で伐採するための各年度の目標数値を等差的に算出	82.8%					
	全国順位	中長期目標			備考						
	数値	目標年次	達成度	根拠							
数値		10,320	31年度	8.0%	京都市農林行政基本方針						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、社会経済情勢及び自然環境条件の影響度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>		23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									

指標名	「京の旬野菜」供給量（t）										
担当課	農業振興整備課	連絡先	2 2 2 - 3 3 5 2								
1 指標の説明											
京の旬野菜認定生産者による、フードマイレージの低い農産物の生産量（フードマイレージ：食料の重量と輸送距離を掛けて得られる指標）											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
社会や環境に貢献できる農林業の機能発揮に向けた、環境負荷の抑制状況を表す指標			事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	21年度	22年度		数値	根拠						
数値	9,666	9,763	97t増	10,062	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（9,657t）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度11,000t）から各年度の目標数値を等差的に算出	97.0%					
	全国順位	中長期目標			備考						
	数値	目標年次	達成度	根拠							
数値		11,000	31年度	88.8%	京都市農林行政基本方針						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果						
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満			当該指標については、農業者の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>		23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									